

【単元を貫く問い】 大造じいさんはどんな人物なのだろう。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

[第1学年及び第2学年]

◆おはなしのすきなところを見つける(第1学年)

・スイミー

◆自分と比べて読む(第2学年)

・お手紙

[第3学年及び第4学年]

◆人物の性格を想像する(第3学年)

・モチモチの木

◆人物同士の関わりを考える(第4学年)

・ごんぎつね

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

・学習経験や読書経験を振り返って学習課題を明確にし、表現に着目して人物の心情を捉え、自分の考えが表れるように粘り強く文章を書こうとしている。

単元終了時のめざす児童の姿

・行動・会話・内心語・情景描写に着目しながら物語を読み、中心自分物の人物像を具体的に想像することができる。
・想像したことを基に、分かったことや考えたことをまとめることができる。

知識及び技能

・情景描写や心情描写などを表す語句について理解し、語彙を豊かにすること。(1)オ

思考力・判断力・表現力等

・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。C(1)エ
・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ

この単元からつながっている領域の付けたい力(◆)と内容(・)

[第6学年]

◆物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える

・海のいのち

[中学校第1学年]

◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

他教科等との関連

言語活動

想像した人物像や、根拠に挙げた叙述を整理し、伝え合う。

【1時間】

●単元のゴールを確認し、初読で感じた大造じいさんの人物像や、みんなで考えたことなどを交流する活動を通し、単元の学習計画を立てる。

【主①】

【4時間】

●一の場面を読み、登場人物の言動や情景描写に着目しながら、大造じいさんの心情について想像を豊かにしながら読む。【思②】

●二の場面を読み、登場人物の言動や情景描写に着目しながら、大造じいさんの心情について想像を豊かにしながら読む。【思②】

●三の場面を読み、登場人物の言動や情景描写に着目しながら、大造じいさんの心情について想像を豊かにしながら読む。(本時) 【思②】

●四の場面を読み、登場人物の言動や情景描写に着目しながら、大造じいさんの心情について想像を豊かにしながら読むとともに、これまでにつかんだ人物像を統合する。【思①】

【2時間】

●想像した人物像や、根拠に挙げた叙述等を整理し「大造じいさんは、こんな人カード」にまとめる活動を通し、付けた力を価値付ける。【思④】

働かせている児童の姿

・既習の内容や学び方を想起しながら学習計画に見通しを持っている。

・物語の表現を考えの根拠とし、心情や人物像を想像している。
・読み取ったことや想像したことを基に物語の魅力を考えている。
・意見交換を通して、自分の考えを広めたり、深めたりしている。

・交流を通して、自分の考えを広めたり、深めたりしている。
・単元を通して付けた力を自分の言葉で表現しながら書き表している。

評価規準

知識・技能

① 情景描写や心情描写などを表す語句について理解している。(1)オ

思考・判断・表現

① 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ
② 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ
③ 想像した人物像が読み手に伝わるように文章の書き表し方を工夫している。B(1)ウ

主体的に学習に取り組む態度

① これまでの学習経験や読書経験を振り返り、学習課題を立てようとしている。
② 書かれてあることを根拠に想像し、人物像を捉えようとしている。
③ 分かったことや考えたこと、想像したことを交流を通して広めようとしている。

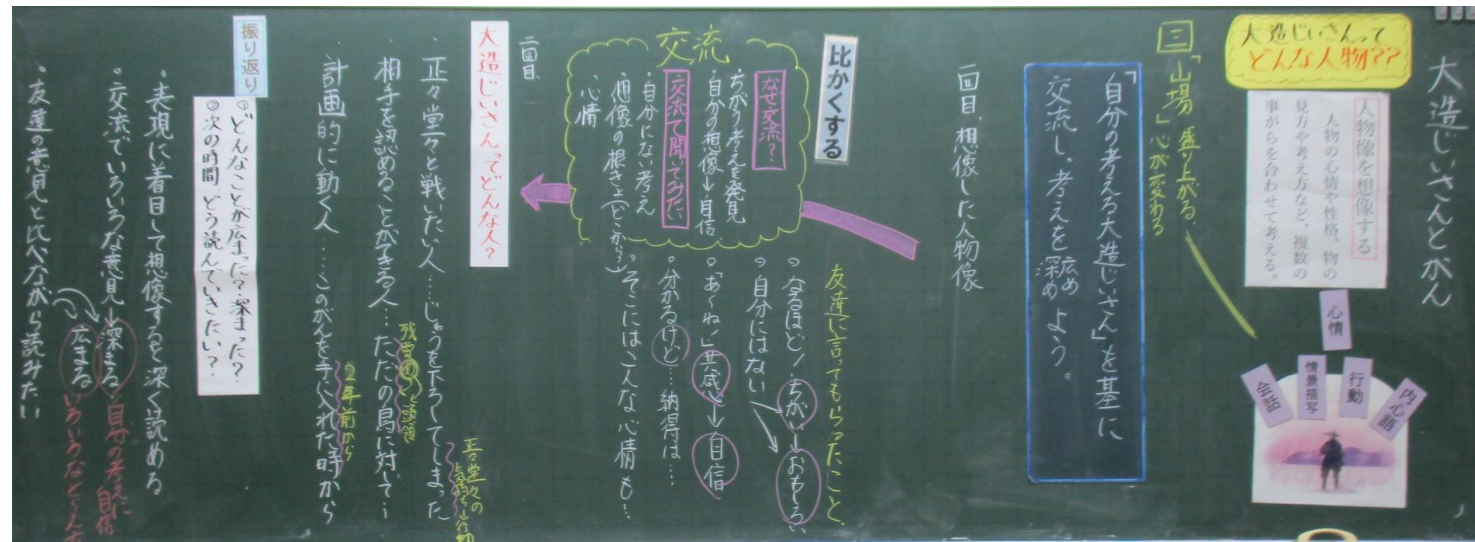
児童の実態と指導観

今年4月に行った標準学力調査の結果では「読むこと」の領域において、全国73.3に対し、本学級は78.2。「書くこと」の領域について、全国54.9に対し、本学級は78.5という結果であった。区分で見ると「人物の気持ちについて叙述を基に捉える」が82.7。「人物の気持ちの変化について具体的に想像する」が90.4と、物語を想像力豊かに読み取る力が付いている。しかし、普段の授業で見ると、想像はできているものの、表現する力に課題が見られたり、根拠のない想像となったりしていることが多々ある。

本単元では、まず各場面における登場人物の会話や行動を手がかりに心情を想像していく。その後、更に他の場面にも目を向けて、その人物の性格やものの見方や考え方を探っていく。複数の事がらを統合的に捉え人物像を想像することで、その人物への理解が深まる。主観的な印象で判断するのではなく、確かな根拠を持って考えすすめていくことができるよう指導する。

【本時の目標】 叙述を根拠にして、山場から見える大造じいさんの人物像を想像することができる。 (4/7)

【本時における言葉による見方・考え方】 行動・会話・内心語・情景描写に着目して心情や人物像についての想像を広めている。



大造じいさんってこんな人

どんな相手に対しても敬意を払う、紳士

根拠

- ◆残雪の呼び方が変化
 - ・たかが鳥→残雪め→がんの英雄
- ◆ただの鳥に対してのような気がしませんでした。
 - ・残雪は傷つき、簡単にやつつけられたのに、銃を下ろし、ケガが治るまで世話をした。
- ◆「ひきょうな手でやつつけたかないぞ。」
 - ・知恵比べにこだわっている。



◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫

初見の感想から問いを持たせることで児童主体で学習過程を計画させることで学習意欲を高める。
また、人物像を想像する際には、まずは大造じいさんの独語や内心語を手掛かりに大造じいさんの心情を読み取らせる。そして想像した心情を統合しながら人物像に迫っていくことで自らの読みを使って新たな読みへとつなげていく。そうすることによって多様な想像が生まれ、対話的な学びへとつながっていくだろう。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て

「大造じいさんはどんな人物なのか」という単元を貫く問いを常に意識させることで、心情をさぐるために行動・会話・内心語・情景描写に着目させていく。言葉や表現にこだわって読み、人物の心情や優れた叙述に着目しながら様々な表現の効果について考えてられるようにする。
また、登場人物の心情を直接的に描写しているものだけでなく、暗示的に表現されているものにも着目させ、想像を豊かに読めるようにする。



T 今回、付ける力はどんな力ですか。
C 人物像を想像する力。

T 人物像を想像するためには大造じいさんのどんな所に着目していくと良かったですか。
C 行動・会話・内心語・情景描写に着目すると、心情が捉えられるよ。

T 今日どの場面？
C 三の場面。山場。

T 山場ってどんな場面なの？
C ハヤブサと残雪が戦う場面。話が一番盛り上がる所。
C 大造じいさんの心が大きく変化する場面。

T ということは、着目したくなる表現がいつもよりたくさんありそうですね。たくさんあった中で、みんなは「どこ」に着目して、前にあるような大造じいさんを想像したのでしょうか。行動に着目した人？・・・それぞれ選んだ叙述に自分なりの想像が入っていますね。聞いてみたいのがある？
C ○○が知りたい。
T なぜ？
C 自分には思いつかなかった人物像を想像している。

T 交流すると深まるってこの前言ってたけど、聞くことで何かいいことがあるの？
C 自分の考えが広がる。自分と違う想像があるのかもしれない。
C 自分の考えが深まる。自分と似たような想像をしているけど、理由が少し違うかもしれない。
T 交流の中で聞いてみたいこともある？
C 想像の根拠の表現を聞きたい。

めあて
書かれていることを根拠に、「私の考える大造じいさん」を交流し、考えを深めよう。

T ではどうして大造じいさんの人物像をそう考えたのか、根拠をしっかりと伝えながら交流しましょう。
※ホワイトボードに掲示した文章の、自分が着目した表現にラインや書き込みを入れながら考えを交流する。

C 残雪を捕まえることをあきらめない人。根拠にした表現は・・・。
C 勝負にこだわる人。根拠にした表現は・・・。
C 敵のすごさを認められる人。根拠にした表現は・・・。
C 柔軟な考えができる人。根拠にした表現は・・・。
C 新しい計画を練るために努力を惜しまない人。根拠にした表現は・・・。

C 僕はちょっと違うけど、言いたいことはよく分かるな。
C 似た人物像を書いていたけど、選んだ表現が違うな。
C その表現から読み取れる心情は私の考えの根拠にもなっているな。
C その考えは思いつかなかったけど、確かにその通りだな。

T 今から少し時間を取るのよ、他の班のボードも見えてきていいよ。見ただけでは分かりにくいものは、その人に説明してもらおうといよ。

〔指導上の留意点〕
・着目した表現にこだわらせ、そこから想像できる心情について語らせる。
描写から捉えた心情を基に交流し、人物像を想像している。【思②】(評価方法：ノート・ワークシート・発言)

T 交流の際、言ってもらったことはどんなことでしたか。
C 自分とは違う根拠だと言われた。でも人物像は似ていたよ。
C 「なるほど」や「あ〜ね」と言ってもらった。自分の想像に納得してもらえてうれしかった。
C いい読みだけど、ちょっと納得がいかないと言われた。根拠の表現からは想像できなかったみたい。

T 交流を通して、いろいろ考えることができたんですね。

〔指導上の留意点〕
・言ってもらったことと、それを聞いてどう感じたかを共有し、読みが広まったり、深まったりしていることを価値づける。

T では、友達との交流して得たことも踏まえて、三の場面で想像できる大造じいさんの人物像をもう一度整理しましょう。

T 想像する大造じいさんの人物像について新しい発見があった人はいますか？変化した人はいますか？深まったと思った人はいますか？

T 今日の学習を振り返りましょう。
視点
・どんなことが広まりましたか。
・次の時間はどう読んでいきたいですか。

C 根拠となる表現に着目して想像を広げると、深い読みができる。
C 友達と交流することで、自分の考えが深まる。広まる。

<本時で目指す児童の姿>
・叙述を基に人物像を想像し、読みを広めている姿

〔指導上の留意点〕
・自分の元の考えと交流で得た考えを統合させ、人物像に迫らせる。